

たけうち清海の一般質問

二月定例議会

《水質浄化の進め方》

住民と一体で計画を推進

竹内清海議員（緑風会）

【問】春木川は全国水質調査で昭和63年に続き、2度目のワースト一になった。30年代には魚が捕れるきれいな川であったが、40年代に入ると都市化が進み生活排水が春木川に流れ込んでしまつた。

現在、地元自治会を中心に水質浄化に向けて様々な活動を行っているが、市はこれまでどのような取り組みを進めてきたのか。

【答】春木川の汚濁原因は主に生活排水であるが、これまでの浄化対策により小魚も確認できるまでに改善されてきている。

平成5年に生活排水対策推進計画を策定し、啓発活動のリーダーとなる水アドバイザーを公募、住民と一体となって計画を推進している。また、生活排水が多い排水路の水を直接浄化する施設も設置している。更に、15年度からは、第2次推進計画の下、更なる生活排水対策に取り組んでいく。

《史跡曾谷貝塚の現状と活用》

史跡の敷地活用の実現に協力を

【問】現在、曾谷縄文まつり、グラントゴルフ等、また、近隣住民の遊び場

や犬の散歩等で活用しているが、史跡敷地内中央付近を、東西南北に通る道路は幅員が狭いため交差トラブルが多い、緊急車両通過のために敷地内の道路拡幅の考えはないか伺う。

【答】曾谷貝塚史跡内には、通称2間道路3m64cmの道路が交差している。

南北道路市道は交通量が多く、対向車両同士や白転車、歩行者とのトラブルが日常的に生じているとのことで、市長より対策を講じるよう強く支持を受けております。地下の文化財にも気を付けその実現に努めて行きたい。

《その他一般質問》

○大柏川調節池の機能効果及び国分川調節池整備事業のその後について

○春木川左岸道路整備事業のその後について

○春木川に放流する曾谷第4、5、6排水区の整備状況について

九月定例議会

《防災対策》

《公共施設耐震化の状況は》

【問】本年5月、中央防災会議は地震予知だけではなく、建物倒壊による被害を減らすため、建築物の耐震化を進める方針を決めた。震災時は、市民が公共施設は安全と考え避難してくると思う。また市役所は災害対策本部、各消防署は防災拠点となる。公共施設は被害にあつてはならないと思うが、耐震化の状況はどうか。

【答】公共施設は、利用する市民の安

全確保はもとより、地震発生後の復興拠点となることから、耐震性の確保が重要である。現在、公共施設耐震事業計画を策定中で、防災拠点や避難所施設などの重要度や費用対効果を基準とした改修の優先順位、建て替え計画等を定め、順次耐震化を進めたい。

《市北部の自然を残すには》

緑地保全と貴重な湧水

【問】市川市の北部地域には、斜面林を中心にまだ多くの緑が残っており、都市化や相続税問題により、年々減少してきているが、本市の緑地保全対策について伺う。

また、かつて市内には多くの湧き水が見られたが、宅地開発が進むと共に、山林の減少により水脈の枯渇などが心配である。今現在の対策について伺いたい。

【答】北部地域、国府台、国分、曾谷

大柏地区等の斜面林は市の貴重な財産であると認識している。

減少の原因である相続税については、今後も「市川みどり会」と共に、国に陳情を続けて行く、また、地権者への補助や保存樹林の拡大に努めていく。次に現在市内には、31箇所湧水がある。保全策として、緑地・農地の保全、公園整備、雨水浸透施設普及が主な施策とし、今後は行政、流域住民、企業が手を組み検討していく。

《その他一般質問》

○消防団並びに自主防災組織の現状と活動について

○地域防災計画における災害ボランティアの位置づけと市の取り組みについて

十二月定例議会

《市川大野駅前広場計画》

事業年度は平成20年まで

【問】市川大野駅は、駅前広場が無く、朝夕の時間帯は車道まで送迎車が占領し、市民より駅前整備の要望が多くある。昨年の9月議会でも質問し、答弁は、駅前の隣接する市有地を利用しバスの整備、タクシーや一般車の乗降場所等の整備を進めると伺ったが、整備計画はどのような観点から策定をしたのか。

【答】策定にあたっては、広場の面積、位置、事業費等検討しながら、現在第2駐輪場と民間駐車場で使用している、約1000㎡の広場で結論に達した。

今後、交通関係者の協力や関係権利者地域住民に協力をいただき、また、関係する地域の方々等に駅周辺整備計画の説明会を開催していきたい。

《高齢者介護施設の現状は》

老人保健福祉計画の定に合せ努力したい

【問】高齢化の進みが速いのか、老人介護施設を建設しても、施設によっては入所希望に間に合わない、在宅で生活を継続できるよう、居宅サービスを利用する方も年々増えてはいるが、家庭で介護する人がいない、介護度が高く見られない等の家庭も多くある。

そこで、介護保険で施設入所を希望するが、思うように入所できない。本市の施設及び、入所待ちの現状を伺いたい。

【答】介護保険では、施設サービスは、三種類の施設に区分されているが、入所希望が多く施設の不足が指摘されている。施設の整備状況は、特別養護老人ホームは4箇所定員344人、介護老人保険施設は1箇所閉鎖しており、2箇所定員270人、また介護療養型医療施設4病院、88床となっている。施設整備については、老人保健福祉計画の定に向け、19年度目標量達成に努力していきたい。

《その他一般質問》

○都市計画道路3・4・15号（市川柏線）及び3・5・28号（高塚新田川線）の安全対策について

○地域ケアシステムの進捗状況と今後の取り組みについて